

江戸川総合人生大学は、「地域のために自分の力を活かしてみたい」という方を応援するため、江戸川区が開設した大学です(学校教育法で定める正規の大学ではありません)。

「始める」を応援する 江戸川総合人生大学の情報紙

# Begin!

ビギン

better life in EDOGAWA  
No. 56  
2025.7

特集

ささえ合おう、  
ともに生きる、  
未来のために!!

# 大学祭

第19回江戸川総合人生大学

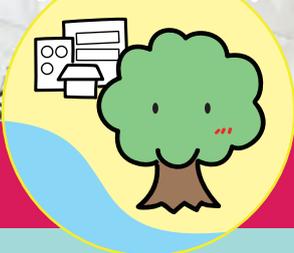
2025年  
7月20日(日)  
10:00~16:00

日時

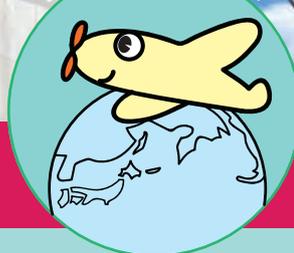
場所

タワーホール船堀  
1階展示ホール・4階研修室

江戸川まちづくり学科



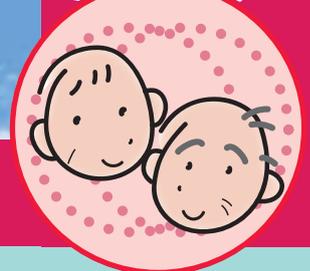
国際コミュニティ学科



子育てささえあい学科



介護・健康学科



# ひろがる “まなび” “ひと” “まち” “おもい”

江戸川まちづくり学科



## 仲間とともに 安全で暮らしやすいまちづくり

2年次は、江戸川区役所の関連部署職員各1名と地域別班ごとにテーマを決めて、「まち普請事業の魅力アップの提案と効果」について発表しました。提案の一つ、船堀駅周辺のゴミ問題と街路樹の囲いの段差が解消されました。

また、桜の木の植樹など道路が整備されて景観アップに繋がりました。班は土木部計画調整課計画係の係長さんとの連携で、問題箇所の早期解決ができ「安全・安心なまちづくり」の第一歩を踏み出せました。授業外ですが4月5日(土)に、小松川千本桜の公園でお花見会を開きました。大学祭は、誰もがより幸せで健康に暮らせるようなまちづくりをテーマに、健康体操をステージで披露する予定です。



小松川千本桜の下で記念撮影  
桜の木が植樹された景観  
船堀駅前道路囲いの段差  
段差が解消した囲い

江戸川まちづくり学科 19期

## 地域の魅力、課題を見つけ、調査・研究、発表へ

昨年10月から12月にかけて区内の魅力、課題等を見つけるために市民活動の現場を訪問するフィールドワーク(「えどがわの種探し」)を行い、その後、訪問した現場の活動や意義を伝えるCMを作りました。

次に「地域の魅力再発見」として、学科生が地域別にグループを作り、PC、模造紙、紙芝居、寸劇による発表会を行いました。今後は、学科生全員が課題を設定し、4月から6月にかけて調査・研究、発表を行います。

7月の大学祭では映像版「善光寺お血脈のご印」をステージで披露し、体験コーナーでは「江戸川博士クイズ」、展示コーナーではフィールドワーク関連の展示を予定しています。ちなみに、大学祭テーマ「支え合おう、ともに生きる、未来のために!!」は当学科生の案が採用されました。

江戸川まちづくり学科 20期



映像版「善光寺お血脈のご印」(大学祭準備)  
江戸川博士クイズ作成(大学祭準備)  
小松菜の講義受講(鹿骨)

国際コミュニティ学科



## ご縁も視野もどんどんひろがる人生大学!

人生大学は出会いがいっぱいです! まず、国際コミュニティ学科で個性豊かなクラスメイトと出会いました。私たちは、在留外国人の現状や、安心して暮らせる共生社会の実現について共に学び、「多文化共生」の理解を広めるために「多文化共生音頭」を作り、区民まつりやえどイン・フェスなどで歌って踊ってきました。

そのたびに、色々な国の在留外国人や人生大学を卒業した素敵な先輩たちと交流を深めることが出来ました。

また、さまざまな価値観に触れ、自分自身の視野も広がりました。ご縁も視野もひろがる人生大学は、本当に素敵な場所です!

今年の大学祭ステージでも「多文化共生音頭」を踊ります!一緒に歌って踊って、盛り上がりましょう!



国際コミュニティ学科 19期

## 授業風景と大学際に向けて

国際コミュニティ学科の授業では、日本在住の海外出身の方から各国の習慣・制度・現在の人々の暮らしぶりについて話を伺いつつ、多文化共生のあり方を学習します。時には、教室を飛び出して、フィールドワークに東洋言語学院やグローバルインディアンインターナショナルスクール東京などへも行き、貴重な体験をする中で、世界の知らなかったことを発見して、学ぶことを楽しんでいます。

授業とは別に、多文化に触れるべく、クラスの仲間と高麗博物館へ行きました。大学祭ではチョコが発祥の人形劇で、演目は「その後の白雪姫」を上演します。それぞれ国際結婚をした7人の小人さんたちが、定年間近となり、これからの人生をどう楽しく、充実したものにするか、王様、お姫様とみんなで話し合っているところです。

皆さまそれぞれの想いで楽しんでいただけたら嬉しいです。

国際コミュニティ学科 20期



子育てささえあい学科



## 児童館から共育プラザへ 広がる子育ての輪

子育て支援の現場視察の授業で「共育プラザ南篠崎」を訪れました。以前から児童館が共育プラザに変わって、どの様になったのか気になっていました。

平成17年に全小学校にすくすくスクールが設置されたことをきっかけに6館あった児童館の全てが同時に共育プラザに変わり中高生の居場所になりました(小学生も利用できます)。また、乳幼児親子への子育て支援、世代間交流も行っています。

令和2年にはグリーンパレスの中に共育プラザ中央が設立され、音楽、ダンス、スポーツ、映像・メディア、情報・IT、食・和の文化、工芸・アート等、各館に特色があり、飲食ができる部屋や中高生用の学習室が共通してあります。「江戸川区共育プラザ」のHPからは生き生きとした中高生の姿が想像できます。「子育てひろば」は乳幼児親子を対象に仲間づくりや情報交換できる遊び場です。休館は年末年始のみで子育て中の親子にとって大切な居場所になっています。大学祭は展示・体験コーナー、ステージ共に「皆で楽しく」をテーマに進めています。



子育てささえあい学科 19期

## 気づきと仲間のひろがり

私たちの学科では、講義室での授業で講師からの質問を受け、数人ずつ意見を出し合い、その中の1人がまとめて発表しています。例えばボランティアについての授業では、スーパーボランティアと称賛された方に対して家族からの視点での意見も出て、見る角度によって、その方の見方が変わりました。

大学祭では、体験としては、折り紙、牛乳パックやリサイクル品などを使った手作りおもちゃなどを、展示では、江戸川区の子育て支援制度の紹介を予定しています。来てくださる方々のためにも思い出に残る楽しいものにしたいです。

子育てささえあい学科 20期

介護・健康学科



## 大学祭でデイサービス体験コーナーを実施します

昨年の大学祭は、授業で学んだ介護予防をテーマにしました。フレイルにならないための体操や体力チェック、車椅子体験や傾聴の実践に取り組み、作業中や開催中にはたくさんの発見や気づきがありました。

そして2年目の今回は、フィールドワークで介護の実際や地域でのお年寄りの居場所について学んだことを生かして「デイサービス」の1日を再現することにしました。元気に年をとるには社会とのつながりを守ることが大切です。外に出るきっかけの一つに地域での集まりがあります。デイサービスがどんなところかを知って、行ってみようと思ってもらえるような内容にしよう、クラス全員で取り組んでいます。

介護・健康学科 19期

## 介護・健康学科 20期生に入学動機を聞きました

入学動機は、学生によってさまざまですが、地域社会への貢献を目的としています。

入学動機	エピソード
☆介護・健康の学び	介護(健康)のことが知りたい、授業内容・クラスメイトへの興味、定年後の学びのため、オープン・スクールに参加し介護を身近な問題として思った。
☆介護・入院の体験	介護体験、入院体験で医療スタッフの優しさにふれ、人の役に立ちたい。
☆生きがい	リハビリ体験し周りの人達の応援で入学できました、学長の「生きがいは『感動』すること『感謝』されること」に共感した。
☆健康寿命を延ばすフレイル予防	自分や周りの人達のフレイル予防がしたい。
☆つながり	地域を知り、知り合いをつくる。学び、仲間づくりと各種組織のネットワークをつなげて、高齢者が安心して住み慣れた自宅で生活できるような仕組みを作るため。
☆社会貢献	江戸川区の現状を知り、何ができるかを考えるため。

介護・健康学科 20期



今年の大学祭に  
遊びに来てね



# 私のボランティア体験

私は「江戸川区立福祉作業所」で知的障がいを持った方々の就労支援ボランティアを毎週水曜日午前10時～12時に行なっています。対象は、比較的年齢層の高い人たちで、重度の方も多くいらっしゃいます。

織った生地をバッグやポーチ、マフラーなど様々なものに製品化する支援活動で、私の専門である縫製技術を活かせる領域です。出来上がった製品は催事などで販売され、売り上げは作業所の利用者さんの工賃の一部に充てられているようです。

この支援活動では、福祉作業所スタッフのYさんの存在が欠かせません。いつも手順を教えてください、そのサポートがあるので安心して活動できます。

支援活動を通じて私が感じ、そして学んだことは、各人が様々なハンディキャップをお持ちでも、それに負けないで、それぞれのペースで、能力・技量を最大限に発揮しようと頑張っておられることです。

その姿は私に努力することの大切さ、そして諦めないことの尊さを改めて教えてくれます。

また、私の出退時間に交わす心とむ挨拶からは、彼らの純粋な気持ちが伝わってきて、私も温かい気持ちになります。

国際コミュニティ学科 19期 戸邊 國男



江戸川区立福祉作業所  
 内容…織物製品の縫製・仕上げ  
 ① 日時…週1回…応相談  
 ② 活動時間…10時～15時  
 ③ 集合時間…10時～応相談  
 ④ 対応時間…1日2時間程度～5時間まで  
 (活動時間はボランティアの都合で良い)  
 ⑤ 場所…江戸川区立福祉作業所  
 (江戸川区西小倉3-25-15)  
 ⑥ 募集人員…一度に入れる人数は1～2名  
 ⑦ 交通費・食事…支給なし(弁当購入可)  
 ⑧ 特記事項…縫い物が得意な方  
 ⑨ 申し込み…名称:江戸川区立福祉作業所  
 住所:江戸川区西小倉3-25-15  
 電話:03-3657-1971 FAX:03-3657-6741  
 担当者…橋本  
 縫製で織った生地をバッグやポーチ、マフラー等に製品化してあります。  
 ◎お問い合わせはこちら!



## 校歌プロジェクト



「20周年を迎えた人生大学に校歌があったら素敵だね」そんな会話がきっかけとなり、大学祭プロジェクトとして校歌の制作がスタートしました。「たくさんの想いを込めて創ろう!」と、卒業生・在校生から歌詞のキーワードを募集し、「仲間」「感謝」「未来」など、50名を超える皆さまから心温まる言葉が寄せられました。

それをもとにストーリーを組み立て、言葉を紡いでいきました。4学科の特色や卒業生の想いをどう表現するか試行錯誤を重ね、ついに「みんなの想いが結集した歌詞」が完成。

作曲は、江戸川まちづくり学科20期生で、プロの作曲家として活躍されている井川さん。素敵なメロディとともに、歌詞に命が吹き込まれました。大学祭でのお披露目をお楽しみに!

曲名『我らに誇る未来あり 江戸川総合人生大学校歌』

<プロフィール>

作 詞: 人生大学生

補作詞: 江戸川総合人生大学 国際コミュニティ学科 19期生

越智 静香 (役者・作詞家)

作曲: 江戸川総合人生大学 まちづくり学科 20期生 井川 勝之

(アーティスト名: 荒川わたる 公益社団法人 日本作曲家協会)

編曲: 隼トシヒデ (公益社団法人 日本作曲家協会 編曲家)



左から隼さん、越智さん、井川さん

## 新入生募集

やってみたいがカタチになる

江戸川総合人生大学第21期生学生募集中

募集  
学科

江戸川  
まちづくり学科

国際コミュニティ  
学科

子育てささえあい  
学科

介護・健康  
学科



就学期間: 2年間(10月～翌々年9月) 授業料: 年間3万円(令和7年6月現在)

※応募方法などの詳細はホームページをご覧ください。

江戸川総合人生大学学長  
北野 大

# Let's Begin together!! いっしょにやろう!!

## 食料支援の配送スタッフ募集中

江戸川区にはひとり親や困窮世帯へ食料支援を行っているボランティアグループが複数あります。

その中の1つ、人生大学の「子育てさせあい学科」12期有志が立ち上げた「フードバンク ジョイライフ」は、葛西と一之江、清新町で毎週土曜日に活動しています。スタッフは全体で30名、利用者は約350名で、この半数が常に支援を受けているそうです。支援を卒業する利用者には、安堵する一方、淋しさも感じるような親身な交流を続けています。

配送スタッフが足りないのが悩みのタネで、どのグループも抱えている問題だそうです。食料を引き取りに行ったり、拠点に運ぶボランティアのドライバーさんを募集中です。

(詳しくは「フードバンク  
ジョイライフ」のホーム  
ページをご覧ください)



届いた支援食品を振り分ける南葛西「あったかハウス」のボランティアの皆さん

## ＊ 旧中川の楽しい会 ＊

旧中川の楽しいこと、なんでもやっています

旧中川は、自然が多く残る「ふれあえる水辺」です。カワセミやコサギなどの野鳥、チョウやトンボなどの昆虫が飛来し、ハゼやクロダイ釣りを楽しむ人も多く訪れます。

旧中川の楽しい会は、この自然を次世代に残せるよう河川敷の美化を始め、チョウを誘致するためのバタフライガーデンの維持管理や鎮魂碑清掃を行なっています。

★20期生の社会活動体験も受け入れています★



旧中川の  
アイドル  
『キュナくん』

連絡先： 代表 風間勝昭

090-4939-9410 kazama1944@jcom.zaq.ne.jp

江戸川総合人生大学  
旧中川の楽しい会の  
詳細ページです



## 同窓会の窓『気づく』

### 学び舎の絆、時代を超えて進化する同窓会の“今”

世界が急速に変化している中、同窓会も新たな時代に対応するべく変革を余儀なくされています。郵送料高騰を受け、同窓会だより等のペーパーレス化を推進し、会員がネット上で手軽に閲覧できるようにしました。

また、コミュニケーションツール LINEWORKS を導入・推進し、現在約 100 名（会員の 1/4）が登録しています。ここでは、掲示板機能で同窓会だよりの閲覧もできますし、複数人トークや投稿などの情報交換で活発な交流の輪がひろがっています。

デジタル技術の活用は、これまでにない緊密な連携と活動活性化に繋がっています。

春にはフラワーガーデンでお花見を開催し、世代を超えた同窓生・在校生が旧交を温めました。

さらに先日、タワーホール船堀にて山中光茂先生による「超高齢化社会で誰もが自宅で困らないために」をテーマに講演会を開催しました。地域の方々にも多数ご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じました。

同窓会は、卒業生の絆を深めると共に、地域社会の一員としての役割も大切にしています。今後も時代の変化に対応し、会員にとって有益な活動を展開し、地域との連携を深めてまいります。

ご期待ください！

江戸川総合人生大学 同窓会会長 松浦松子



同窓会へのご入会は  
こちらから



### ☆編集後記☆

今号は「ひろがる」と「大学祭」がテーマです。総合人生大学での“学び”からひろがる“ひと”・“まち”・“おもい”を大学祭で発表！

そんな大学祭の感動と発見が伝わるよう編集いたしました。

さて、どのような大学祭が開催されるのか  
こうご期待！！



川崎 一男

### ☆編集委員☆

◎=編集長 ○=副編集長

◎川崎一男・難波紀代子（まち 19 期） ○岡田由紀子・鮫嶋充（介 19 期） ○白井たけ子・的場美代子（子 19 期） 戸邊國男・若林雄司（国 19 期） 栗原秀介・中嶋美代子（まち 20 期） 高橋一三・村野裕子（介 20 期） 池田則子・岡田和教（国 20 期） 岩崎通江・大林暁子・渡邊順一（子 20 期）

（まち）=江戸川まちづくり学科 （国）=国際コミュニティ学科  
（子）=子育てさせあい学科 （介）=介護・健康学科

【発行】  
江戸川総合人生大学  
情報紙編集委員会

〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 7-20-19 しのだぎ文化プラザ

TEL：03-3676-9075 / FAX：03-3676-6545

https://www.sougou-jinsei-daigaku.net/

※編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで ※ホームページでバックナンバーがご覧いただけます。

